

施設名称	〔42〕 東京都台東区立今戸児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(25年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,763,451,917円, 支出2,624,027,474円, 収支差額139,424,443円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸1-3-6					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・第2遊戯室等					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	42,627,000	42,234,000	37,736,000	38,954,000	38,662,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	42,627,000	42,234,000	37,736,000	38,954,000	38,662,000
決算	委託料	40,773,160	38,709,249	38,739,431	38,143,393	38,592,410
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	257,751
	管理経費	40,773,160	38,709,249	38,739,431	38,143,393	38,850,161
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数		日	334	335	334	333
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用者数		人	20,000	16,304	19,741	18,599

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取り組み				
<p>利用者の要望を聞き取り、幼稚園児を含めた乳幼児のための環境整備を行った。また、父親の育児支援事業を定期的実施するとともに、行事の周知を徹底した。</p> <p>小学生のやりたい気持ちを自主的活動や行事に発展させるとともに、中高生に対しては楽器の充実やOBによる指導などの環境を整備し、各年代の要望に応えた。</p> <p>民生委員児童委員協議会との共催により、25年度新たに7館合同の下町こどもまつりを実施した。</p>				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	小学生や中高生の自主企画の実現を支援するとともに、近隣の中学校や高校にポスタ 掲示やチラシ配布を行い、中高生の利用拡大に繋がった。行事や活動に役立つ研修に積極的に参加し、スキルアップを図っている。		
(2)施設の維持管理	A	毎日の施設点検により、早めの修繕を行い、事故防止に繋がっている。また、遊具や館内の消毒を徹底し、乳幼児親子や児童が安心して利用できるよう衛生管理に努めている。		
(3)利用者の満足度	A	各部屋の環境整備、遊具・図書の充実により、利用者アンケートでは遊びに対する満足度が高い。地域や学校行事への参加等を通して、児童館活動への協力を得るなど地域の関係団体との関係を深めている。		
(4)収入支出	A	リサイクルを推進し、消耗品の一括購入、長期契約などの経費節減、事務の効率化を図った。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	未就園の乳幼児対象の幼児タイム、幼稚園児や父親参加プログラムを実施した。また、小中学生の自主企画の支援や中高生の居場所づくりに取り組み、幅広い年齢層が楽しく利用できる児童館活動を行っている。	
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代の要望に対し、多様なサービス、柔軟な対応を行い、活動の質を高める。 ・子ども達の遊びを支援するとともに、活動を通じて地域との関係をさらに深めながら子育て支援を行う。 ・地域に根ざした児童館としての子育て支援・子育て支援を行い、多くの乳幼児親子から中高生世代までが、安心して過ごせる居場所づくりや活動の充実を図る。 				